

議会だより



contents

- ◇議長副議長就任挨拶・議会構成表 …… P2
- ◇トピックス …… P3
- ◇採決一覧表・質疑討論 …… P4
- ◇一般質問 …… P5～9
- ◇委員会報告 …… P10～13
- ◇議員と語ろう会 …… P14～15
- ◇議員出前懇談会・編集後記 …… P16

七夕祭りの様子：
七夕の物語を真剣に聞く子どもたち
(内浦保育所)

議長就任のご挨拶

議長
粟野 明雄

5月に行われました議会の組織替えで、議長に就任いたしました。

高浜町を取り巻く環境は、海外では中国の膨張・北朝鮮の挑発・テロ・中東など不安定要因が尽きません。国内でも好景気の実感はなく、少子化の波は将来不安を掻き立てます。

高浜町でも、新庁舎に移転し心新たに活動が始まったところであります。課題は山積しています。

が、しっかりと一つ一つ対応していくことが大切だと思います。

議員14名は、いろいろな政党や多様な立場と多彩であります。

又、女性議員も3名おられ、多方面からの視点で、議案に対し意見を述べ、意見提案をする体制があります。この多様性を大切にしながら議会秩序を保っていきたいと考えます。全国的には議員のなり手不足から、定員不足・無投票の自治体も多くなっています。

信頼される議会の在り方が大切だと思います。

今、我々は変化の只中に居ます。議会の判断が将来を左右するとの自覚を持ち、皆様と共に努力を続けることをお誓いしご挨拶いたします。

副議長就任挨拶

副議長
小幡 憲仁

このたび議会の組織替えに伴い副議長に就任しました。これまでの経験を活かし誠心誠意責務を果たしてまいります。

さて、今議会では少子高齢化や人口減少対策、あるいは社会資本の整備など町の重要施策の中期的な事業計画が示されました。町議会としてこれら事業が将来の高浜町にとって真に必要な否か、他の手立てはないかなど真剣な議論を重ねていかなければなりません。こうした議論の積み重ねができる議会づくりに取り組んでまいります。

高浜町議会構成表

平成29年6月20日現在

議長

粟野 明雄

副議長

小幡 憲仁

■常任委員会

総務産業 7人

・委員長 山本 富夫
・副委員長 西野 朋宏
・委員 大塚ひとみ・井ノ元康夫
磯部 武史・横田 則孝
粟野 明雄

厚生文教 7人

・委員長 廣瀬とし子
・副委員長 井上 順也
・委員 児玉 千明・釣本 音次
上尾 徳郎・小幡 憲仁
渡邊 孝

予算決算 13人

・委員長 上尾 徳郎
・副委員長 井上 順也
・委員 議長を除く全員

■議会運営委員会

議会運営 6人

・委員長 横田 則孝
・副委員長 上尾 徳郎
・委員 西野 朋宏・井上 順也
廣瀬とし子・山本 富夫

■特別委員会

原子力対策 13人

・委員長 山本 富夫
・副委員長 廣瀬とし子
・委員 議長を除く全員

鳥獣害対策 6人

・委員長 西野 朋宏
・副委員長 磯部 武史
・委員 井ノ元康夫・横田 則孝
山本 富夫・渡邊 孝

人口減少問題対策調査 7人

・委員長 井上 順也
・副委員長 大塚ひとみ
・委員 児玉 千明・釣本 音次
上尾 徳郎・廣瀬とし子
小幡 憲仁

広報 6人

・委員長 釣本 音次
・副委員長 児玉 千明
・委員 西野 朋宏・井上 順也
大塚ひとみ・磯部 武史

若狭消防組合議会議員…児玉 千明・西野 朋宏・渡邊 孝

嶺南広域行政組合議会議員…上尾 徳郎・粟野 明雄

福井県後期高齢者医療広域連合議会議員…粟野 明雄

高浜町監査委員…横田 則孝

青葉山健康長寿の里(ハーバルビレッジ) 初年度は赤字決算



- 施設園芸事業(農業)
- 地場産品販売促進事業(商業)
- 青葉山健康長寿の里指定管理事業
- 移住定住総合バンク など…

大規模施設園芸事業は、若手就農者の育成及び経営の自立化を目指し一定の成果を上げてきた。

観光型いちご園芸事業の取り組みを開始し、若手就農者の育成及び農業分野の活性化を目指した。本事業も「合同会社ながの農園」と同様に初期投資金額が発生したため、財政面で厳しい状況にある。

「青葉山健康長寿の里(ハーバルビレッジ)」は、新設されたカフェ、売店における商品メニュー、取り扱い物品の模索段階でのスタートとなり目標未達となった。薬草染、薬草茶、薬草菓子、薬草入浴剤の試作に取り組み次年度より販売をめざしている。

(磯部武史)



(株)いきいきタウン高浜
なすの 那須野副社長

TOPICS

(株)いきいきタウン高浜
経営状況報告



老朽箇所の改修や耐震補強を行い さらなる交流機能の拡充が図られる

旧塩屋は、平成25年に「まちなか居住推進の拠点」として町が取得し、これまで空き家情報バンクの運用(平成26年度開始)、NPO法人塩屋設立(平成27年度)、移住定住総合情報バンクの運用(平成28年度開始)を行ってきた。

昨年の利用者数は3,980人で前年より4倍に増えている。今回の改修をとおり、町内の子どもからお年寄り、さらには移住者がまちなかに集い、互いに刺激しあう高浜らしい「まちなか暮らし」の実現を目指している。和室と一体になった中庭の



旧塩屋



「蔵」会議スペースイメージ

整備や宿泊対応の共用キッチン、蔵を会議スペースにするなど、ますます交流の輪が広がりそうだ。9月頃より工事着工で平成30年3月の完成予定。

(大塚ひとみ)

【旧塩屋改修工事費】 3,389万円

- 主な財源内訳
- ・国県支出金 2,000万円
- ・一般財源 1,389万円

TOPICS

旧塩屋改修工事
まちなか活性化に期待





6月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第50号	平成29年度高浜町一般会計補正予算（第1号）	予算決算	全員賛成で可決	P1,4,10
議案第51号	平成29年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	全員賛成で可決	P11
議案第52号	平成29年度高浜町水道事業特別会計補正予算（第1号）	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第53号	高浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P4,11
議案第54号	高浜町立中央体育館整備基金条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第55号	町道法面補修工事請負契約	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第56号	高浜町雨水対策事業 汐入2号雨水調整池整備工事請負契約	総務産業	賛成多数で可決	P4,11
議案第57号	清掃センター施設点検修繕工事請負契約	厚生文教	全員賛成で可決	P11
議案第58号	高浜小学校体育館吊天井改修工事請負契約	厚生文教	全員賛成で可決	P11
同意第1号	監査委員の選任	—	全員賛成で同意	—
同意第2号	農業委員の認定農業者等過半数要件に対する例外適用	—	全員賛成で同意	—
同意第3号	農業委員の任命	—	全員賛成で同意	—
同意第4号	農業委員の任命	—	全員賛成で同意	—

本会議での質疑・討論

討論 請願第2号

反対討論 山本富夫 議員

世界の多くの人口を抱える国が参加していないし、日本はアメリカとの安全保障条約の中で平和が保たれている。

核兵器全廃の中には、原子力発電で発生する使用済み燃料の核も含まれている点で立地自治体の立場から採択には反対。

賛成討論 渡邊 孝 議員

国連で始まった「核兵器禁止条約」会議に日本政府も参加すべきである。

討論 議案第50号

賛成討論 井上順也 議員

木質バイオマス熱電併給事業については、環境影響評価と採算性を確実に検証すること。

討論 議案第53号

反対討論 渡邊 孝 議員

マイナンバー制度は個人情報流出

する恐れがある。

賛成討論 山本富夫 議員

マイナンバー制度が実施され個人情報保護体制の構築が急務である。

今回仕組化される国のコアシステムや、ジェイリス管理※は中間サーバープラットフォームにより大幅な情報セキュリティを強化したもので賛成とする。

※ 地方公共団体情報システム機構（略称「JIS」）の管理。

討論 議案第56号

反対討論 釣本首次 議員

雨水対策については、この施工が果して正しかったのか今も疑問がある。

賛成討論 山本富夫 議員

雨水対策は高浜駅周辺地域の長年の要望であり、町民の生命財産を守る観点から本事業を一日も早く実施すべきと賛成する。

Q IT関連企業等の誘致を

A 実効性のある誘致活動を展開していく

磯部 武史 議員



IT企業のイメージ

Q 企業誘致といえば広大な土地というイメージがある。
IT関連企業ならほとんどの場合広い土地の必要はなく、空き家や空き店舗の利用でも可能である。
ネット環境も整った中、町独自の優遇制度の創設や、ブルーフラッグのビーチ、自然環境を活かしたPRを行い積極的な誘致活動を行ってはどうか。

と考える。
・特殊な設備投資をせずに、事務スペースと汎用的な事務機器があれば成立する。
・働き方改革として、一部の部署をサテライト的に自然豊かな地域に設けることは、企業イメージの向上につながる。
人口減少、移住対策のみならず、町の魅力を発信するうえでも有効な施策と考える。
業種を絞り込み、誘因効果が期待できる優遇策をパッケージにより講じるなど、戦略的に実効性のある誘致活動を展開していく。

Q 外来種駆除の推進をすべき



西野 朋宏 議員

A 町のホームページに再掲載するなど周知を進める

Q 町内に広く分布し生態系に悪影響を及ぼしている外来種の駆除を進めるとともに町民に正しい知識の普及と啓発を進めるため、町内に生息する外来種リストや防除計画等を作成して、計画的に駆除を推進すべきと考えるが。

A 県の「外来生物ハンドブック」などを町のホームページに再掲載するなど周知を進めていく。



オオキンケイギク(北米産)



ミサイルの脅威

Q 小中学校の避難訓練において、武力災害からの初動対応は教育されているか。
A 安全確保の行動が取れるよう、今後避難訓練・防災教育を実施していきたい。
Q 業務継続計画(BCP)の進捗状況は。
A 高浜町では、現在BCP策定に関する勉強会や先進自治体の事例や計画の雛形の提示を福井県から受けており、今年度末の計画策定完了を目標として進めている。



山本 富夫 議員

Q 青葉山麓活性化事業を重要施策と位置づけているのか

A 薬草栽培事業を健康長寿の重点施策事業の一つとして推進する



ハーバルビレッジのイベント風景

Q 青葉山麓活性化事業の方向性・ハーバルビレッジの活用、青葉山麓事業の地域連携、青葉山麓事業組織強化、青葉山麓事業長期的展望について考えを問う。

A 薬草栽培事業を高浜町総合計画の後期実施計画の中で盛り込み、町の

重点施策事業の一つとして推進。ハーバルビレッジの運営を望ましい運営体が整えば、機動性の観点から契約期間満了時にこだわらず指定管理者の変更も考えたい。

地域連携では種苗の出荷、薬草の栽培、商品化のプロセスの中で、

他市町とWin、Win（ウィン、ウィン）の関係をしていくことが今後の検討課題。

平成30年4月に青葉山麓研究所を「一般社団法人化」し、体制強化を図る予定。東京生薬協会からの高い評価を活かし育苗センターでの種苗の安定供給や、薬膳事業を積み重ね、町民への理解の浸透を図り、その上で全体的な健康ブランド構築につなげて行きたい。

Q 奨学金返還支援制度の計画は

A 経済的な負担を減らす

廣瀬 とし子 議員



Q 地方創生（まち・ひとしごと創生基本方針）人口減少を解消するには中学2年生を対象に将来何になりたいか調査をとり、児童に奨学金返還支援制度の説明を考へてはどうか。

A 奨学金返還支援制度を導入予定である。大学等を卒業後故郷で就職し、町に貢献する方への支援である。



中央球場



高浜中学校

◆中央球場からの砂ほり
Q 強風時球場からの砂ほりが飛散し、住宅に降ってくる、洗濯物に付着して汚れる、被害対策として砂防ネットの設置が出来ないか。

A 具体的には、防風ネットなどを設置し、砂が飛散しないよう抑制できないか適切な対策を検討する。

Q 国民体育大会へ向けての機運醸成策は

A 「のぼり」や「懸垂幕」を目のとまる場所に設置する

井上 順也 議員



トライアスロン大会

Q またとない国体成功へ向けた町長の考えは。

A 8千人の方に体験して頂くであったり景色であったり、競技を見に来る方も含めて観光なり来訪につながるおもてなしをしたい。単に競技している期間だけのオペレーションに徹する以外に、皆さんの記憶に残るようなことをして行きたい。

◆町営住宅の整備進捗状況は

Q 平成28年度に具体的な整備計画をまとめるとしていたが、現状の進捗状況は。
A 基本は町営住宅の改修、更新をやっていく。今年度に具体的な計画を作成し、急ぐべきところから財源を確保して着手する。

Q 国民健康保険広域化後の保険料値上げは納得できない

A 今後とも市町別保険料設定の維持を県に求める

小幡 憲仁 議員



Q 来年度、国民健康保険が県に広域化される。これまで高浜町は健康増進活動などで医療費が低く、保険料も低かったが広域化で他市町並みに保険料が高くなる懸念がある。広域化後も市町別保険料を維持すべき。

A 当面は市町別保険料となる。将来も医療費水準に見合った保険料設定となるよう求める。

◆木質バイオマス事業

Q 木質バイオマス事業の基本設計予算が計上されたが、今でも事業化に不安な

◆学校給食の地元食材活用の推進
Q 給食負担金を一部町で補填し地元の良質な食材活用を増やせないか。
A 地元食材活用は進めるが、給食負担金の町補填は考えていない。

面がある。
A 採算性は問題ないことを確認した。今回導入するプラントの運転実例が乏しいことから実証試験を確実に実行の結果が出てから事業化をする。

福井県内の市町国保の医療費の状況(平成27年度)

福井県内平均	381,626円	17市町平均額
高浜町	340,152円	17位／17市町
〇〇町	423,723円	1位／17市町

福井県内の市町国保の保険料の状況(平成27年度)

福井県内平均	94,700円	17市町平均額
高浜町	78,846円	15位／17市町
〇〇市	102,621円	1位／17市町

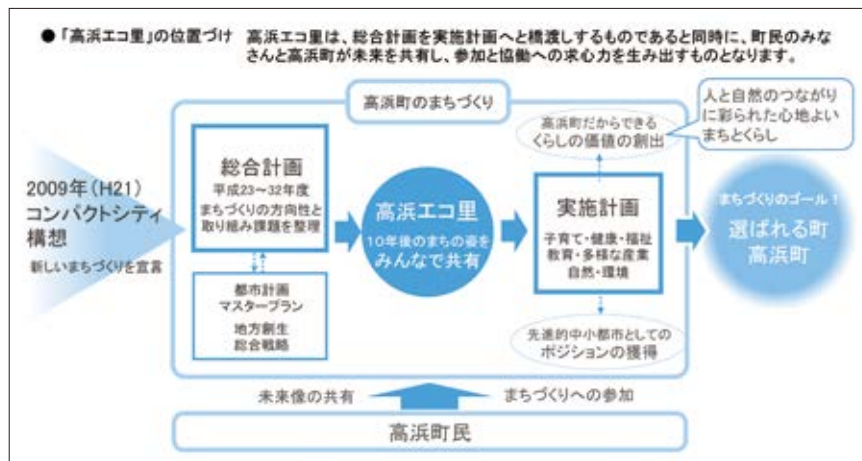
高浜町の国保は、福井県内で最も医療費が低く保険料も3番目に低い



上尾 徳郎 議員

Q 総合計画「後期実施計画」の 取り組み姿勢・方針は

A 町民が豊さを実感できる
住民サービスの実現をめざす



Q 重点プロジェクトとは。

A 基本目標の分野別目標の施策ごとに優先的施策を重点プロジェクトと位置付け、財政状況との整合を図り計画的に登載。

Q 原子力発電所関係の財源見通しと、交付金補助事

A 発電所の稼働の有無に関わらない範囲で経年変化や制度変更を踏まえて推計。

国及び県の補助事業の必要性、事業効果を十分に検討し、有効活用に向け計画的な事業推進を図る。

Q 町の方向性を示した、「高濱エコ里」とは。

A 環境面のエコと人々の営みのエコを融合し「つながりで創るエコ」として一つ先の豊さを求め、町民と高浜町が未来を共有し参加と協働への求心力を生み出すもの。

その他ポイント制度についても質問した。

Q 防犯カメラ設置状況について問う



大塚 ひとみ 議員

A 防犯専用ではないが、現在交通危険個所に11ヶ所、国道監視カメラ5ヶ所設置

Q 防犯カメラについては、最近いたるところで設置が進んでいる。複数の防犯カメラの映像を分析することで、事件解決の重要な手掛かりとなる。

「人の目」による見守りを基本とした防犯まちづくりの推進が理想だが、「人の目」が行き届かないところでは防犯カメラを設置することも犯罪の抑止に有効である。(プライバシー保護に対する配慮とセットが前提現在通学路を含む防犯カメラの設置状況は。

A 大きな交差点や踏切周辺、道路冠水する箇所など全部で16ヶ所に監視カメラが設置されており、防犯にも役立っている。

町内で犯罪が多く発生している特定の場所は無いと警察に確認しており、町が主体的に防犯カメラを設置することは考えていないが、犯罪の発生が懸念される状況があれば警察との協議の上、防犯カメラの設置について検討したい。現在海水浴場入口等新たに4ヶ所のカメラ設置を協議中である。

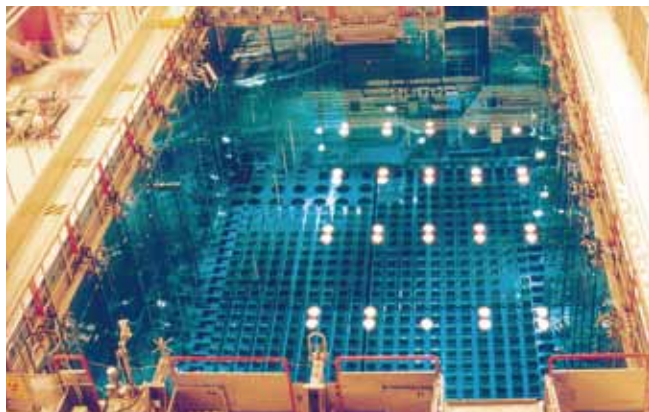


現在設置されている監視カメラ

Q 使用済み燃料発言について問う

A 県外搬出はのぞましいが…

渡邊 孝 議員



使用済燃料ピット

Q 高浜原発の稼働に伴って出る使用済み核燃料の搬出先を、関西電力がなかなか見つけられないことで、町長は高浜原発サイト内での保管もあり得ると公表されたが、西川一誠県知事の方針とも違い、あまりにも軽率な発言ではないか。

A 関電が進める県外での移設場所は見つからず、青森県六ヶ所村への搬出も予断がもてない。結果的に高浜町で保管せざるを得ないのではないかと

申し上げた。

◆学校給食費の無償化を

Q 子どもの貧困化が進んでいる。全国市町村では学校給食費の無料化を実施する自治体が増えている。高浜町も検討すべきではないか。

A 平成27年度では4600万円以上を町費負担している。全額無料は大きな負担であり、現状維持としたい。

◆内浦地区住民へのサービスについて

Q 戸籍謄本や印鑑証明等、諸証明の発行を内浦公民館でできないか。

A 個人情報ゆえに慎重な対応を求められる。地元住民の要望をよく聞き検討したい。

Q 原子力災害時の避難における有効策は

A 技術的な事は専門家にゆだね、町民には的確に対応

釣本 音次 議員



福島第一原発の水素爆発の現場

Q 原子力災害時の避難する根本は、放射線被害を受けないようにする事だ。福島第一原発事故は、水素爆発により原子炉建屋が破壊され放射性物質を広域に拡散させ甚大な災害となった。水素爆発の原因となる水素は、一番軽く天井部にたまっていく。大量の水素の爆発は、福島第一の原子炉建屋のように天井が吹き

飛ぶ。但し、天井部を鉄の強度の10倍もある炭素繊維で覆って補強し、天井に点火プラグを取り付けてこまめに少量の水素を燃焼(原子炉建屋に影響がない程小さい爆発を)させて大量の水素がたまらない様にすれば解決できる。

外部に放射性物質を出さなければ高浜町民の皆様をはじめ近隣の方々、日本国民、広くは世界の人々に貢献できると確信する。万事に備え避難はすべきで、放射線量が少なければ帰れる。理事者の所見を求む。

A 技術的な事は専門家にゆだね、町民の皆様には安全に避難されるよう的確に対応する。

木質バイオマス実証実験による調査・検証へ

予算決算

常任委員会レポート

委員長 上尾 徳郎

◇6月12日(月)

●議案第50号

■一般会計補正予算

予算補正額の歳入歳出それぞれ1億5705万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ98億7398万円とする。

【総務費】

木質バイオマス発電、木材の確保と検証の概要は。

燃料となる木材は森林組合により確保している。チップの乾燥・燃焼は事業の採算性に関わり、含水率の確保なども含めて実証・調査し「基本設計」に



バイオマス発電チップ工場予定地
B & G テニスコート

反映する。

■新庁舎の駐輪場設置工事について。

設置の位置を含め、風雨対策が十分との意見が多く、再検討する事になった。

■プロモーションビデオ・イメージソングの活用は。

現在、ユーチューブ等に掲載し、今回の事業で浜茶屋や飲食店等で流したり、ダンスの振り付けをして広く活用を計画している。

■【民生費】

瑞祥苑駐車場用地の利用範囲は。



庁舎駐輪場

歴史資源魅力創出支援事業について。
県の「明治一五〇年博」PRの一環事

【商工費】

【農林水産業費】
イチゴ園の敷地工事と販売方針は。
大型バスも想定した駐車場整備。出荷を重きとした販売方針である。
収益性の高い水田農業経営確立支援事業について。

和田営農組合(認定農業者)の白ネギ生産事業で、3カ年の事業費を県・町・事業者のそれぞれが3分の1負担の県の補助事業。



瑞祥苑駐車場予定地

業で「釈宗演没後百年記念事業」に2分の1を県が補助。

【土木費】

■旧塩屋改修工事について。

簡易宿泊所施設として関係機関と打ち合わせ中。指定管理者を公募し管理運営の予定。ゲストハウスとしては利用者を限定し、料金などは条令に規定する。管理運営が複雑に見えるので整理すべきとの意見が多くあった。

【教育費】

■和田小学校旧プール解体工事について。

8月中に解体を終え、秋口から跡地の植栽、芝生張りの予定だが、活用も含め学校と協議・検討する。

雨水対策事業汐入2号 整備工事がスタート

総務産業

常任委員会レポート

委員長 山本 富夫



薬草栽培予定地視察

◇6月13日(火)

●請願第2号

核兵器廃絶の中には、原子力発電で発生する使用済み燃料の核も含まれている点については、原子力立地の立場から毎回否決している。

●議案第52号

建物(上水道センター)の更新についての質疑、建物の耐震性、浄水場の処理方式、施設の規模、用地面積等を検討し業務委託料を計上した。

●議案第53号

今回国が、情報管理のシステム構築と共に法改正、7月から試行的に3カ

月ほど試験運行して、本格的に上手くいけば10月からの本格施行。

●議案第54号

新体育館や駐車場に野球場から打球が飛来し危険で防球ネットの設置が急務。

●議案第55号

妙見山水道施設道路路面改修。

●議案第56号

雨水貯水池工事とともに逸見氏の銅像に雨だれがあたる問題についての質疑に対し、今回の工事には移転計画はなく管轄である教育委員会と再確認して協議するとの回答。

体育館吊天井の 防災機能強化

厚生文教

常任委員会レポート

委員長 廣瀬 とし子

◇6月14日(水)

●議案第51号

■平成29年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

前期高齢者納付金33万5千円増額された。必要な経費負担である。前期高齢者納付金・交付金制度とは、前期高齢者の率が高い保険者の市町村国保へ、前期高齢者交付金という形で交付される。その財源の一部を国保も負担することになっており補正はそのためである。

●議案第57号

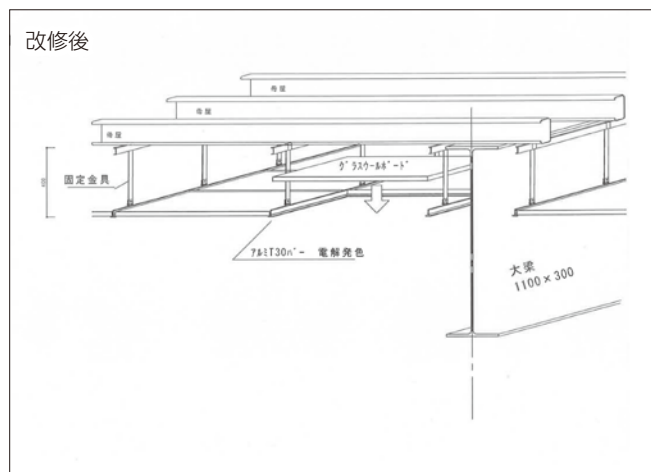
■清掃センター施設点検修繕工事請負契約

清掃センターは、操業開始以来28年が経過しているため、毎年計画的な点検・修繕を実施している。設備や装置に老朽化や機能低下が見られる。

●議案第58号

■高浜小学校体育館吊天井改修工事請負契約

防災時において避難場所としての必要な機能が発揮できるよう防災機能の強化を図り、天井材落下等による被災を防ぐため、必要な工事である。



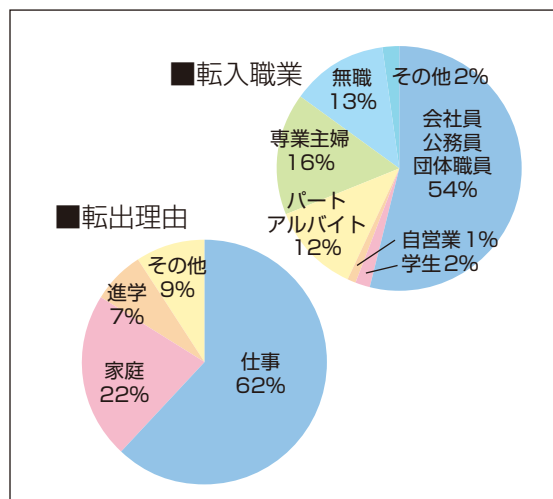
体育館天井詳細図

平成28年度総合戦略の実績値について意見交換

人口減少対策調査

特別委員会レポート

委員長 井上 順也



の充実が必要。
 ・U・イターンを促すため魅力ある働く場の提案が必要。

■28年度の総合戦略の実績値についての意見交換

◇6月15日(木)
 新体制のもと、副町長をはじめ関係課から「高浜町の人口推移・転出入アンケート結果」および「高浜町のまち・ひと・しごと創生総合戦略に関する28年度実績値」について報告を受け、意見交換をおこなった。

■28年度アンケート結果の考察

・若い女性の転入が増加傾向のため、継続して女性目線でのPRを実施し、働く環境を整える必要がある。
 ・子育て世帯の転出傾向が見られるため、新居・子育て・教育などの環境

・重点プロジェクトの数値目標は適宜見直しをする。
 ・新規住宅着工数を指標とすべき。
 ・塩屋の店舗とゲストハウスの棲み分けが不明。(7月13日に委員会として塩屋に赴き、現状調査し、意見交換を行う。)

町民と行政が連携しみんなで行く鳥獣害対策

鳥獣害対策

特別委員会レポート

委員長 西野 朋宏



電柵現地点検の様子

被害発生要因と対策

●イノシシ／イノシシが慢性的に人の暮らし近くまで出没する事態は、放置された野菜くず等が誘引物になっていると考えられる。

対策／加害個体を意識した捕獲と正確な防衛対策を推進する。

●シカ／シカの増加は、全国的な傾向でもあるが、集落が餌場として利用されたり、防衛対策が十分でないことも被害発生要因として考えられる。

対策／捕獲と防衛の両軸の取組と他市町と連携した取組を推進する。

●サル／集落がサルの餌場として利用されていることが推測される。また、個体数の増大か、メス捕獲による群れの分裂が発生し、被害を大きくしていることも考えられる。

対策／被害の要因をもとに原因の除去と積極的な対策に取り組む。

◇6月15日(木)

高浜町鳥獣害対策総合計画

農業者・林業者にとどまらず行政や関係機関とも連携し、町民みんなで自発的・効果的に・鳥獣害対策に取り組む被害を低減させる。

●基本施策1／効果的かつ効果的な鳥獣害対策の取組の推進

●基本施策2／バランスの取れた防御・環境整備・捕獲の推進

●基本施策3／町民みんなで継続的に鳥獣被害対策に取り組む体制の確立

広域議会敦賀市に 移 転 決 定

嶺南広域行政組合

レポート

代表議員 山本 富夫

- ◇3月28日(火)
- 議案第1号 平成28年度嶺南広域行政組合一般会計補正予算(第2号)
基金積立中止分533万9千円減額。
 - 議案第2号 平成29年度嶺南広域行政組合一般会計予算
歳入歳出総額8億6620万円。
 - 議案第3号 嶺南広域行政組合事務所の位置を定める条例の一部改正
小浜市から敦賀市に移転。
 - 議案第4号 嶺南広域行政組合特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

高浜原発3、4号機 再稼働スタート

原子力対策

特別委員会レポート

委員長 山本 富夫

◇6月16日(金)
関西電力高浜発電所宮田所長から高浜発電所の3、4号機の運転再開状況についての説明を受けた。4号機、3号機とも運転再開にあたり社員、協力会社社員が一体となり、1チーム10名以上の13チームを構成し、原子炉起動前、発電機並列前、定格熱出力一定運転到達後において、新たに一斉パトロールを実施し再起動には全て問題なく運転しているとの報告があった。高浜1、2号機の運転期間延長にかかる地元理解活動も内浦地区を中心に各地区区長会長を訪問し説明を実施しているとの報告。

いざに備える 高浜町のチカラ

若狭消防組合議会

レポート

代表議員 見玉 千明

◇6月17日(土)
笠原川(新川)河口付近で水防訓練が行われた。
消防署指導のもと、迅速かつ円滑な防災体制の確立を図ることを目的とし、消防団、役場職員、和田地区自主防災組織、日本赤十字婦人部の皆さんが集まり、埋土救出訓練、土嚢袋づくり作業、水防壁づくり、ロープワーク、緊急タンカ作りなど、大規模水害の発生を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるため、実態に即した演習を行った。



水防に備えた土嚢作り

議会傍聴に お越しく下さい



会議当日、議会事務局にて受付致します。
事前予約は不要です。
次回定例会は9月です。

<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>
高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710



5月16、17日に、町内4地区におきまして開催いたしました。町民の方々に参加していただき、貴重なご意見を伺いました。一部ですが、ご紹介いたします。

高浜地区

意見・質問 除雪機の購入と町内の自

主防災組織の立ち上げ状況は。

回答 町内26地区で自主防災組織を立ち上げていただき、また除雪機も8区で利用していただいている。



除雪機の操作実習

意見・質問 高齢化社会になってきて

いる。福祉や介護など課題が多い。ポイントを絞って政策を進めてはどうか。

回答 住民のニーズにあった政策を進めるべく、介護や福祉など課題が多いが議会としても取り組んでいく。

意見・質問 町内で薬草栽培を進めて

いるが、栽培している畑が荒れている。

回答 人手不足で管理に手が回らない状況である。一度状況確認をする。

意見・質問 木質バイオマス発電の目

的は、間伐材の利用と聞くが、薪ストーブやペレットだけの利用を考えたかどうか。



高浜地区会場／高浜公民館



バイオマス発電機

回答 現在調査中であり、調査結果に基づき検討する。

意見・質問 労働奉仕や地域福祉活動

に力を入れるべきである。ボランティアの得点化をしてボランティア

活動を募ってみてはどうか。
回答 マンパワー不足の解消につながると考える。今後の参考にさせていた

内浦地区

意見・質問 県道などの避難道路整備

について、小黒飯からのトンネルに接続や神野から先のカーブの直線化はどうか。

回答 少しでも早く出来るように、県へ要望していく。

意見・質問 今年は大雪であった。高

齢化が進む中で、緊急時に困るため、



内浦地区会場／内浦公民館



内浦公民館

意見・質問 内浦公民館でも印鑑証明等の発行ができないのか。公民館で手続きをすれば、翌日でも渡すことが出来ないのか。



除雪風景

除雪をもっと丁寧にやってほしい。
回答 今年は雪が一晩に多く降り、除雪が間に合わなかった。議会としても改善するようにと要望した。



北陸新幹線ルート図

意見・質問 6年後には、北陸新幹線が敦賀駅までの開業となるため、今後の小浜線の利用普及に力を入れるべきである。
回答 嶺南広域行政組合で検討し、高浜町としても今後の新幹線小浜・京都ルートも考えながら、小浜線の促進を進めていく。

青郷地区

回答 印鑑証明などは、財産管理等のリスクがあり、また諸証明の発行についても再確認する。



青郷地区会場／青郷公民館

意見・質問 薬草栽培を進めているが、現状と問題点を問う。

回答 地域に合った薬草の選定に時間がかかっている。マンパワーが足りないため、栽培管理に人手不足が発生している。現在は、種類を選定し今年度からは、薬草の苗を栽培して販売していく計画である。

意見・質問 薬草を栽培だけでなく、今後どのように産業として結び付けていくのか。

回答 栽培を地域に広めて雇用になるように進めたい。今後は薬草を食べる食材として考え、有名なシェフによる



和田地区会場／保健福祉センター

和田地区



ヤマトウキ

料理を提供してはどうか考えている。また、地元産品の開発や販売も考えている。

議員の出前懇談会

高浜商工会
女性部様

平成28年より始まった「議員の出前懇談会」、昨年同様、高浜町商工会女性部様より申込をいただき6月23日(金)午後7時30分より高浜町商工会館2階会議室にて開催され、商工会女性部11名の皆様、町議会からは女性議員3名が出席しました。あらかじめ、女性部の皆様より質問やご意見をまとめて頂き、それに対する進捗状況や議会としての回答をさせていただき、内容の濃い懇談会になりました。

「国道沿いの町の景観への懸念」「葉草栽培事業の進捗状況」「ブルーフラッグに対する地域の温度差」「ごみの分別」「公共施設での保健所の許可がある施設が少ない」「野良猫対策」「認定こども園について」など広い分野にわたりたくさんのご意見をいただきました。

女性だからこそできる、あらゆる角度からの生活に根付いた目線は、この町に不可欠なものであり今後、我々議会が町政に反映していかなければならない重要事項だと考えます。

大変貴重な意見や提言、そして機会をいただき、議員一同感謝しております。
商工会女性部の皆様、ありがとうございました。(児玉千明)



お知らせ

「議員の出前懇談会」は団体、サークル等で、参加人数10名程度、日時、場所、テーマなどご記入の上、お申込ください。議員が出向き、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。申込書、お問い合わせは議会事務局まで。

◇議会事務局／☎(72)7710



編集後記

今年は、空梅雨を思わせる天候が続きましたが、いよいよ本格的に高浜の夏が到来します。

平成30年に控えた、福井国体に向け、各地区ではプレ大会が行われる予定であり、今年も和田浜ではブルーフラッグ認証を得てますます活気あふれ、暑い(熱い)夏になることを期待します。

町議会も2年経過し、議長はじめ各委員会の組織替えが行われ、広報委員会のメンバーも変わりました。「手に取ってもらい、わかりやすく、見やすい」をモットーに、工夫を凝らし精進して参りますので、今後とも「議会だより」のご愛読をよろしくお願い致します。

広報特別委員会

文責 児玉 千明

委員長 釣本 音次
副委員長 児玉 千明
委員 磯部 武史
大塚ひとみ
井上 順也
西野 朋宏